
あの丘で待っていて

神崎月夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あの丘で待つ

【Zコード】

Z0712F

【作者名】

神崎月夜

【あらすじ】

戦争にとられた恋人を、健気に待ち続ける女性、レイラのお話です。

今日も朝日が昇る。

朝日が街を照らす。

朝日が照らした丘の上、今日もレイラは待っている。
愛しい人を待っている。

「どうして待つの?」レイラに訊いた。

「約束したから……」

レイラは言った。

「だって、あの人は約束を破らないもん。」レイラは私にそう言つ
と、丘から見える海を眺めた。

「ねえレイラ……」

私はレイラの背中に言つた。

「新しい恋見つけなよ。帰つて来ないあいつより、新しい恋探さな
い?」それを聞いたレイラは、私のほうに振り返り、怒つているよ
うな、悲しんでいるような顔で私に言つた。

「そんなこと出来ないよ!私、約束したのよ、待つてるって!」
つと、待つてるって……」

「……ごめん」

泣き出したレイラに、かけていい言葉が見つからなかつた。謝るし
か出来なかつた。

「……いいの。それが正しいのかも知れない。けど……やつぱりわたし
待ちたいの。」

レイラは私に微笑んだ。

「そう。じゃあ待つててあげて。」

私もレイラに微笑んだ。

じゃあまたね。そういうつて、私は街に帰つた。レイラが一人丘に残
る。

それは今から少し前のこと。戦争が始まった。レイラの婚約者であつたエルнстも、騎士であつたため、戦争に連れて行かれた。明るいマーチ、軍の行進。人々は明るく兵士達を送り出す。しかし、レイラは明るくなれなかつた。ただ一人で泣いていた。

出発の前、エルнстは言つた。「レイラ、あの丘で待つていてくれないか？俺たちが出会つたあの丘で。俺、帰つてきたら、すぐ行くから。」その言葉を信じ、レイラはあの丘で待つてゐる。彼の帰りをひたすら信じて。

やがて戦争が終わり、ほとんどの騎士達が帰つてきた。しかし、そのなかをいくら探しても、エルнстの姿は見えなかつた。レイラは何度もエルнстを探した。しかし結果は同じだつた。死んだという話は聞かない。彼は生きているはず……そうして待ち続け、1ヶ月がたつた。

……街に走る人影があつた。彼はひたすら走る彼は、信念を秘めた目をしていた。

そして丘をかけ上がる。レイラの丘をかけ上がる。

そして叫ぶ。

レイラ！！

声を聞いて振り返ると、そこには……

そこには、愛しい人がいた。愛しい人は、レイラのもとへ。だからレイラは駆け寄つた。愛しい人のもとへ……

彼はレイラを抱きしめた。

もうどこにも行きはしない。もつその手を放さない。レイラー愛しい人……

沈みゆく太陽は、ただただ静かに、何も言わず、二人の姿を見守つていた……

(後書き)

私はずっと後書きというものが書きたかったのです。
吹奏楽関係者は気付いたかも知れませんが、これは吹奏楽の曲から
ヒントを得て書きました。その曲を知っている方は、その曲の雰囲
気が少しでも感じられたら嬉しいです。
それでは、気が向いたらまた書きます。
コメントを下さつたら嬉しいです！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0712f/>

あの丘で待っていて

2010年10月13日22時07分発行